

美しい街

鳥取は品格のある街である。場所に力がある。とりわけ久松山の麓には静かな風格がある。凜とした仁風閣、県立博物館、そして県庁があり、武家屋敷の名残の街割りが続く。積み重ねられた歴史のみが醸してくれる気配だ。

と違ってただ古いものに執着したわけでもない。仁風閣がその完成に合わせてつくられた水力発電所から電気を引いて照明を灯したように、時代時代の新しさを取り込むことにも敏感だったのだと思う。歴史や文化を引き継ぐということは、同時に新しいことにも敏感で貪欲であった、ということだ。でなければ人類の歴史や文化などとうに滅びている。古いものを守るだけでは生き生きとした生活はなく、生き生きとした生活なしに伝統の継承はない。

さて、近代都市は鉄道が通ることによって大きくその構造を変えた。一言で言えばそれは一極構造から二極構造への変化である。さびれた場所に置かれた駅舎周辺が都市の新たな魅力を作り出す。

たとえば大阪はいち早く大阪駅周辺に私鉄が乗り入れ、「キタ」と「ミナミ」の二極構造が成立した。これを結ぶ御堂筋は大正時代に拡幅整備され、その美しい並木道は都市の顔である。



建築家

たけ やすゆき
竹山 聖

1954年大阪生まれ
1977年京都大学の建築学科を卒業
1984年東京大学大学院博士課程修了

1992年から京都大学助教授。旺盛な設計活動と並行して、学生たちと古代都市遺構を訪れ、都市発生を探求、また、阪神・淡路大震災後に「神戸新首都計画」を提案する。

エンジン01オープンカレッジ in 鳥取では、講座「建築はウンチクだ!」、「鳥取県新発見!」を担当。明るい雰囲気での講義を進め、教室に集まった大勢の受講者を楽しませていました。

シリーズ

ぼうけん 望見

～鳥取市を想う～

エンジン01 オープンカレッジ in 鳥取の開催にご協力をいただいた講師のみなさまから、鳥取市に向けたメッセージが寄せられました。今月号から数回にわたり紹介していきます。

☎ 本庁舎広報室 ☎ 0857-20-3159

「神戸新首都計画」1995



現代都市ヴィジョンの一環として竹山聖さんにより提案されました

鳥取もまた、久松山を背負う旧中心地区に向けて、趣のある道が駅から並行して走っている。途中で川をまたぎこすのも風情がある。ところが駅周辺はまだまだ都市の品格に欠ける。聞けば鳥取市庁舎を駅近くに移動する計画があるという。市庁舎でなくとも、求心性のある都市プログラムが駅近くに配されるのは、都市の二極構造化にとってよいことだ。仮に移動されたとして、ただそれが行政の窓口ばかりではつまらない。たとえば敷地全体を覆う大きな屋根状の庁舎として雪から大地を守り、そのところどころに孔が空いて空が見え光が射しその下には樹木も生えるような大きな広場が抱え込まれるとすばらしい。大屋根の下には市民ギャラリーやさやかなコンサートのできるスペースが配されて地域の文化の孵化器となり、子供たちの遊び場があり、カフェには人々が集うような。

そして二極を結ぶプロムナードである。駅から久松山へ続くメインストリートを緑溢れるプロムナードにする。美しくデザインされたトラムがこの二極をつないで走るといいうのも楽しいだろう。

鳥取に潜在する場所の力を最大限に発揮する美しい街づくりをおこなってほしい、と心から願っている。










竹山聖／建築家・京都大学准教授

安心して暮らせる「住みよいまち」をめざして

～まずは知ることからはじめましょう～

障がいのある人もない人も、人権を尊重され、地域の中であたりまえに生活する権利があります。お互いを尊重し合い、地域の中で共に生きる社会、そんな社会になるよういろいろな施策や制度が考えられ、実施されています。問い合わせ先 本庁舎人権推進課 ☎0857-20-3143

知っていますか？このマーク

-  **障がい者のための国際シンボルマーク**
全ての障がい者が利用できる施設（設備）であることを表す世界共通のマークです。これは、車いすの人だけを示すものではありません。
-  **盲人のための国際シンボルマーク**
視覚障がい者に配慮された施設（設備）であることを表す世界共通のマークです。この表示のある信号では、押しボタンを押すと青信号が長くなります。
-  **ほじょ犬マーク（厚生労働省）**
補助犬同伴可マーク（全国盲導犬施設連合会）
ホテルや飲食店などの一般施設や公共施設を、補助犬が同伴で利用できることを表すマークです。
※補助犬とは、盲導犬、介助犬、聴導犬のことです。
-  **耳マーク**
聴覚に障がいがあることを表すマークです。また、病院や銀行、官公庁等の窓口では、「筆談など必要な対応を行います」ということを示すために使用されます。
-  **オストメイトマーク**
オストメイト（人工肛門、人工膀胱）用の設備を表すマークです。排泄物を処理したり皮膚を洗浄するための設備を備えた多目的トイレに使用されています。
-  **ハートフル駐車場マーク**
高齢者や疾病・障がいのある人、妊産婦などが利用できるハートフル駐車区画があることを表すマークです。看板や路面にわかりやすく表示されています。
-  **ハート・プラスマーク**
身体内部の障がいや内臓疾患のある人を表すマークで、本人が携帯しています。このマークは、内部障がい者への理解を広めていくことを目的に作成されました。
-  **身体障がい者マーク**
身体に障がいのある人が運転する車に貼られるマークです。このマークを付けた車への幅寄せや割り込みは道路交通法違反であり、運転者は罰せられます。
-  **聴覚障がい者マーク**
聴覚に障がいのある人が運転する車に貼られるマークです。このマークを付けた車への幅寄せや割り込みは道路交通法違反であり、運転者は罰せられます。

バリアフリー

『バリアフリー』とは、社会生活を送るうえで障壁（バリア）となるものを取り除くことです。バリアには、道路の段差などの物理的なものをはじめ、資格制限などの制度的なものや音声案内などの欠如といった情報に関するもの、さらに、補助犬への理解不足や差別、偏見などの人の意識に関するものがあります。

ユニバーサルデザイン

『ユニバーサルデザイン』とは、障がいの有無や年齢などにかかわらず、誰にでも使いやすいように施設や製品などを設計することです。例えば、ノンステップバスやシャシーのポトルなどのように、ユニバーサルデザインされたものは、健常者にとってもさらに使いやすいものになります。

まずは知ってください

たくさんの方が利用する建物や駅などで、駐車場やトイレ、エレベーターなどが、マークで示され、案内されているのを見かけます。まちで見かけるこのマークの中には、誰もが使いやすいようにデザインされていることを示したり、誰もが安心して社会生活に参加できるよう配慮をお願いしているもの

があります。左図では、そのうち代表的なものを紹介しています。みなさんはいくつご存じですか？
まずは、マークとその意味を知りましょう。そのことが「バリア」を取り除く第一歩となるのではないのでしょうか。